



一乗小だより

深く考える子
進んで取り組む子
思いやりのある子

福井市一乗小学校 第99号
令和8年2月27日発行
TEL 43-2024 FAX 43-2025
E-mail : itijo-e@fukui-city.ed.jp

全校お楽しみ会 楽しかったね😊

全校お楽しみ会! 1はんVS2はん

「日づけ場所」
2月20日(金) 体育館

「プログラム」
1人1問全員クイズ
フラフープくぐり
大縄
つな引き
3・4年の企画
6年生からのメッセージ

2月20日(金)に全校お楽しみ会が行われました。各学級でこれまで準備をして、6年生といっしょに過ごす最後のお楽しみ会をみんなにとって思い出に残るものにしようとの日の会に臨みました。会を通して全員が前に出て話をする場面があり、とても緊張したと思いますが、しっかりと自分の言葉で話をしていたのは立派でした。また、1人1問全員クイズではクイズを通してお互いのことがよくわかり、理解を深める良い機会になっていたと思います。

この日はいろんな企画で全員が楽しんで取り組んでいたことが良かったと思いますが、子どもたちが一人ひとり、自分のことを話したり、自分の思いを伝えたりしていたことが一番心に残りました。



ゲーム等をいっしょに取り組むことでつながりを感じるのはもちろんですが、言葉によってもつながりを感じることができ、これまで取り組んできた「自分の考えや思いを自分の言葉で相手にわかりやすく伝える」取組の成果を感じることができ、みんなの成長をより感じる事ができた会となりました。

その言葉の中で、特に印象に残ったものをご紹介します。

『これからも自分のことだけではなく、周りのことも考えて協力し合える皆さんでいてください。』

この言葉は、6年生からの言葉で、1年生から5年生みんなへのメッセージでしたが、聴いたときは、会場にいる全員に向けて言われているような感じがして、気持ちががはっとした瞬間でした。学校だけでなく、私たちが過ごす全ての場所で、その言葉にあるような関係が築けると素敵ですね。

6年生は卒業まであと7日となりましたが、残された日の中で、言葉を通してみんなとたくさん交流してほしいと思います。1日1日を大切に、みんなで作る楽しい学校生活を過ごしましょう。



1人1問全員クイズ



オープニング



フラフープくぐり



フラフープくぐり



大縄跳び



6年生のメッセージ



綱引き



紙飛行機とばし



大縄跳び

3月3日 一乗子ども観光大使 報告会

まもなく令和7年度が終わろうとしていますが、子どもたちは今年も様々な交流体験活動に取り組み、一乗地区の方々やその他関係機関の方々との交流を通して、たくさんのことを学ぶことができました。今年度は、それらの活動を一乗子ども観光大使の活動として位置付け、一乗地区の魅力を発信することにも取り組みました。その中で今年初めて参加した「ふるさとの学びフェア」ではその取組の成果を会場で堂々と発表し、さらに、「ふるさとの学び特別賞」奨励賞を受賞しました。3月3日(火)に一乗公民館において一乗子ども観光大使としての活動報告会を行います。日中ではありますが、その報告会に是非お越しください。

一乗子ども観光大使 活動報告会

とき 3月3日(火) 10:30~11:00 *この後は清流大学の方との交流会があります。
ところ 一乗公民館 *観光大使として取り組んできた成果報告を行います。

一乗子ども観光大使の取組とは？

これまで長きにわたって学校と地域が共に歩んできた中、脈々と受け継がれてきたふるさと一乗への熱い思いを将来に残そうと、一乗地区の「自然」、「歴史」、「人」の魅力を丸ごと発信する一乗小学校の子どもたちの取組です。

取組内容

本校の児童が取り組んでいる、一乗子ども観光大使の活動は多岐にわたっています。朝倉氏遺跡だけでなく、一乗地区全体がもつ豊かな自然環境や歴史的な行事、地域内外の人とのつながりを最大限に活用した教育活動が全学年において展開され、生活科や総合的な学習の時間の取組として本校の教育課程に位置付けられています。令和5年度より、全校児童が「一乗子ども観光大使」として任命を受け、「朝倉ガイド」活動をはじめ、地域や関係機関との交流活動や体験活動等、様々な活動を学級や全校体制で行っています。

特に今年度は、自分の考えや思いをもって相手にわかりやすく伝える活動に重点的に取り組み、調査した内容を伝えるだけでなく自分の考えや思いを盛り込んで発表する活動を行ってきました。それらの活動において、各学級や全校での取組を紹介します。

《1年生》

「地域の今を知る」というテーマで、まちたんけんに出かけ区内の施設を調査しました。また、サツマイモやショウガの栽培を通して地区の方と交流し、人の温もりにも触れながら学習しました。そして、それら学んだ成果をふるさと学習発表会や全校朝倉ガイドで発表し、今年度は一乗谷あさくら水の駅にスポットを当て、図や資料を用い、クイズも取り入れてわかりやすい発表を行いました。



《3・4年生》

「地域の宝を知る」というテーマで、一乗地区の豊かな地域資源に目を向け、地区の自然、歴史や福祉を隔年で学びました。今年度は森や川、田んぼ、生き物など一乗地区の自然に視点を置いて、現地での調査活動を行い、その成果をふるさと学習発表会や全校朝倉ガイドで発表し、特に、森や川のはたらきと人々の生活との関わりについて、劇を通して、見る人を引き込む興味深い発表を行いました。



《5・6年生》

「地域の過去を知り、未来を考える」というテーマで朝倉氏遺跡を中心に一乗地区の歴史について調査しました。一乗谷朝倉氏遺跡博物館や復原町並の調査活動や博物館の学芸員、復原町並保存協会の観光ガイドの方との交流を通して、遺跡でのガイド活動を目指して取り組みました。今年度は学芸員や観光ガイドの助言を受け、ガイド内容の見直しやガイド方法の工夫を取り入れ、観光で訪れた方々にわかりやすいガイドを行いました。現在、一年間の学びの集大成として「朝倉ガイドパンフレット」を作成中、完成後は保護者や地域、関係機関へ幅広く配付する予定です。



《全校》

なかよし田んぼの田植え、稲刈りや遺跡の外来種撤去奉仕作業に取り組んだり、地域の行事に参加したりすることで、地域の方と交流をを広げ、自分が地域の一員であることを自覚することができます。全ての活動が終了する段階で、「感謝の集い」を行い、活動に関わっていただいた全ての地域の方を招き感謝の気持ちを伝える場をもっています。これらの、各学級や全校での取組により、子どもたちのふるさとを愛する心情を育むことにつながると考えています。これからもこの取組を継続していきたいと思えます。



..... 切り取り

学校へのご意見やご感想をお知らせください。

こちらからも可 →→→

年 名前

(無記名でも構いません)

